

“ 静和 News ”

SEIWA

We Love The Earth

2012.12
産業廃棄物処理 優良認定 取得

Vol.49
2018. 9

静和ケミカルサービス株式会社



ご担当者様にお渡しくださいませ
すよう、お願い申し上げます。

〒422-8027

静岡県静岡市駿河区豊田2丁目7番9号

TEL 054(266)3210 FAX 054(202)3735

E-mail:seiwacs@bronze.ocn.ne.jp

http://www.seiwa-chemical.com



社員紹介 (営業部：小池晶子)

いつもお世話になっております。
営業部2課に所属し、島田～掛川の静岡県西部地区を担当させて頂いております。様々な業種のお客様とお仕事をさせて頂き、入社3年目となりましたが、勉強と発見の毎日です。これからも、少しでもお客様の業務に環境・廃棄物を通じてご協力できるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



スケジュール・その他

9月	・緊急事態訓練 ・インターンシップ開催
10月	・2019新卒者 内定式 ・ISO14001：2015定期維持審査 次回発行は【Vol.50】11月です

編集後記 (管理部：矢部 喜広)

いつもご高配をいただき、誠にありがとうございます。8月は各地で記録的短時間大雨や台風による災害の発生、猛暑続きで熱中症患者が多数発生しております。9月に入りましたが、これからは発生するであろう台風や豪雨などの災害に十分ご注意ください。また、まだまだ暑い日が続きますので、皆様ご自愛ください。今後共、宜しくお願ひ致します。

ご連絡・ご報告



◆「2019 卒内々定者 保護者説明会」 7月1日(日)

7月1日(日)に2019年卒内々定者の保護者様へ会社説明会を行いました。お忙しい中、保護者様に来社して頂き、弊社の事業内容やキャリアアップに関する内容をご説明させて頂き、保護者様にご理解を頂ける良い機会となりました。

◆「2017年度(平成29年度)財務情報」の公開

平成29年度の財務情報をホームページにて公開致しました。詳細内容に関しましては、弊社ホームページを御覧ください。

※ ホームページ▶メニュー▶会社情報▶財務情報▶H29年度財務情報

※ <http://seiwa-chemical.com/financials/index>

◆「社内レクレーション：BBQ」 8月26日(日)

今年も昨年同様、社員と家族、また内々定学生をお招きし、BBQを行いました。猛暑の中、熱中症に注意しながら、飲んで・食べて・遊んで、和気藹々と楽しいBBQでした。



◆「インターンシップ開催」 8月21日(火)・28日(火)

今年より、1dayインターンシップとして「営業同行」「廃棄物回収体験」の2コースを実施しました。学生皆さんに環境ビジネスの魅力を知って頂き、これからの就職活動に役立てて頂けるよう対応しております。

9月、12月、2月にも計画しており、お客さまのもとへ同行させて頂く場合が御座いますので、その際にはご理解・ご協力を頂けると幸いです。

◆「休養室」設置

職場で社員が急に体調が悪くなった場合に休ませる休養室を3Fに男性・女性用に区別して設置しました。



エコテクノ事業部 (担当：平林 孝文)

[蛍光灯照明器具の生産終了について]

いつも大変お世話になっております。今回は「蛍光灯照明器具の生産終了」に関して、ご報告させていただきます。

- 工場・事業場などに幅広く使用されてきた蛍光灯照明器具が、2019年3月末に国内主要メーカーで生産終了となる見通しとなりました。
- すでに日立アプライアンスと東芝ライテックが生産を終了しており、**最大手のパナソニックと三菱電機照明も2019年3月末での生産終了を表明しました。**今後、既存建物に設置された蛍光灯照明器具が故障・破損した場合、修理・交換が難しくなります。

【経緯と今後の動き】

- 世界規模で抱えている課題の1つに「温室効果ガス排出量の増大」が挙げられます。温室効果ガス排出量が2016年320億トン、2040年には約360億トンまで増加推測されており、排出量を削減しなければ、今後の地球環境はますます悪化していくこととなります。
- この課題に対し政府は「**新成長戦略・エネルギー基本計画**」を、一般社団法人日本照明工業は「**照明成長戦略2020**」を定め、メーカーは目標達成すべく、省エネ率が高く長寿命である**LED照明への移行推進**により、**蛍光灯照明器具生産終了の動き**となりました。
- LED照明は、ここ数年で、安価で性能が格段に向上しており、LED照明への更新がより一層促されると考えられます。
- 各省庁が発表している**補助事業でもLED照明の採択率は最も高く**、企業へのLED照明更新を後押ししております。
- さらに昨年10月、蛍光灯は水銀使用製品産業廃棄物の規制対象となりました。本来は水俣条約に対する措置ですが、水銀を含む蛍光灯を適正に処分しLED照明への更新をすることは、今後の地球環境においては有力な取組であるといえます。

【エコテクノ事業部より】

「省エネしたいが何かないか?」「省エネ補助金を利用したいが・・・よくわからない」とお悩み方、蛍光灯照明器具の生産終了に伴いLED照明への更新をお考えの方は、**ぜひ、担当営業にお申し付け下さい!**